


# 地域社会の活性化に向けて

平成23年7月27日

 百十四銀行

# 本日のアジェンダ

当行の概要

平成22年度決算のポイント

地域社会の活性化への取り組み

地域の皆さまとともに

# 当行の概要

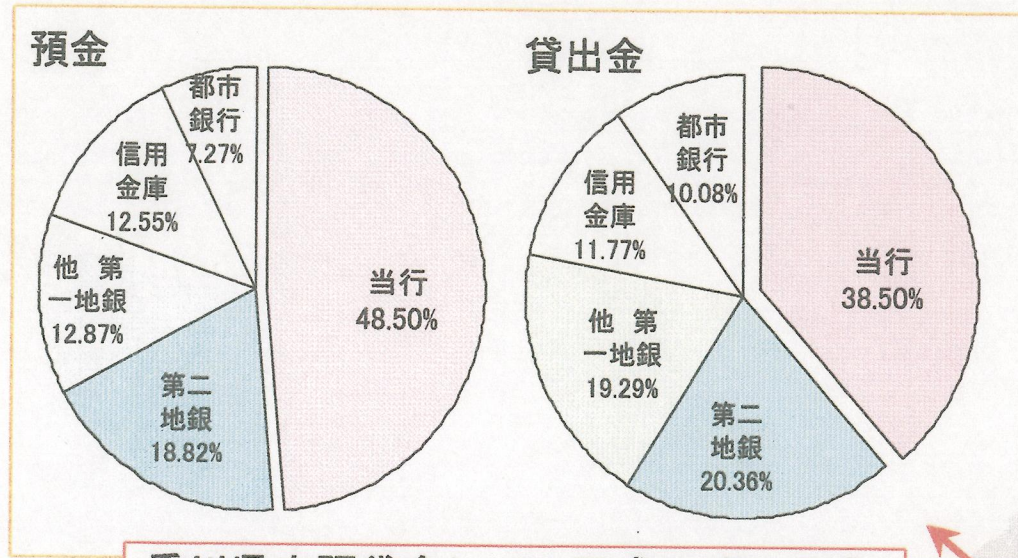
| 項 目              | 基準         |           |
|------------------|------------|-----------|
|                  | 平成23年3月31日 |           |
| 本店所在地            | 高松市亀井町     |           |
| 創 業              | 明治11年11月1日 |           |
| 規 模              | 総資産残高      | 3兆8,442億円 |
|                  | 預金等残高      | 3兆4,705億円 |
|                  | 貸出金残高      | 2兆3,931億円 |
|                  | 預り資産残高     | 3,648億円   |
| 従 業 員 数 (出向者を含む) | 2,227人     |           |
| 店 舗 数            | 本支店        | 102店      |
|                  | 出張所        | 21店       |
|                  | 計          | 123店      |
|                  | 上海駐在員事務所   |           |
| 店舗外ATM・CDコーナー    | 192箇所      | 250台      |

# 当行の概要

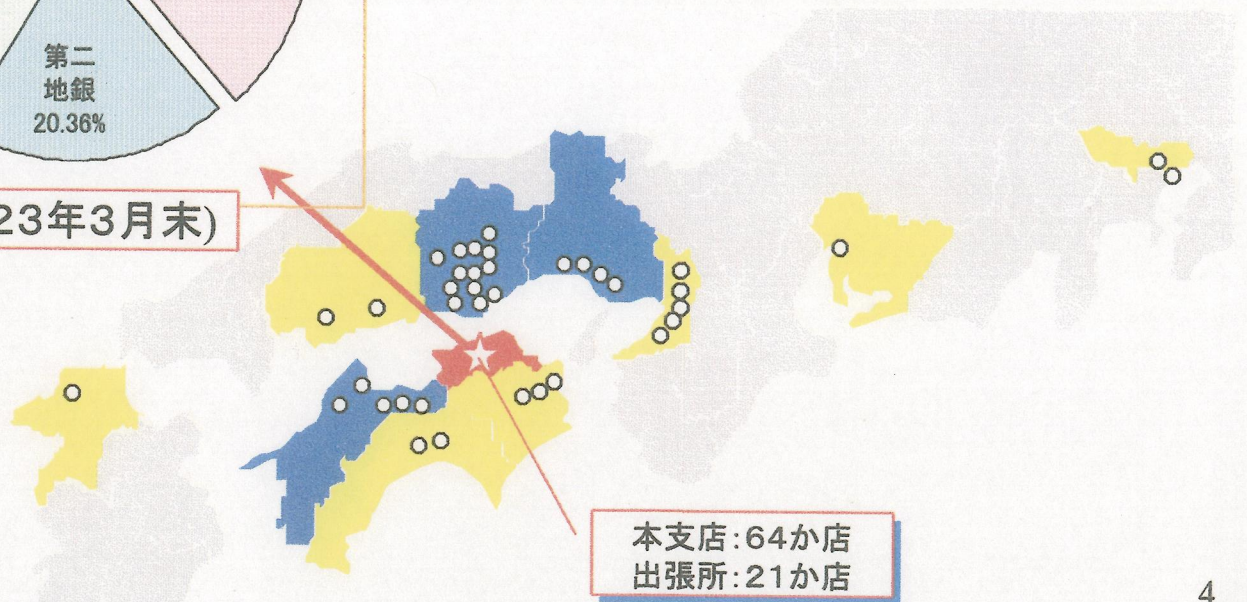
香川県を中心に11都府県に店舗ネットワークを展開。

➤ 昭和25年に大阪支店を、昭和27年には東京支店を開設したほか、瀬戸内圏を中心に早くから広域地銀としての基盤を整備。

➤ 昨年7月、大阪地区での幅広いサービスを提供するため、北大阪支店を開設。



香川県内預貸金シェア(平成23年3月末)

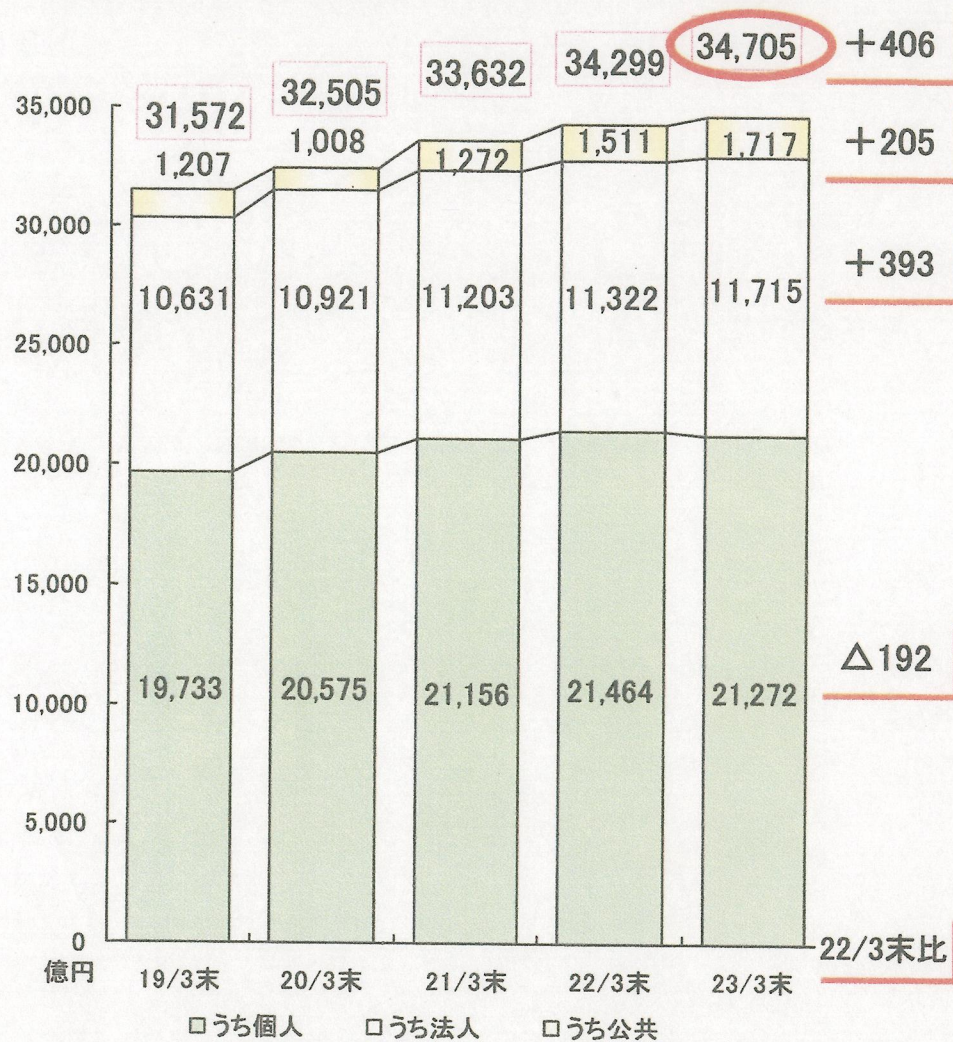


# 平成22年度決算のポイント

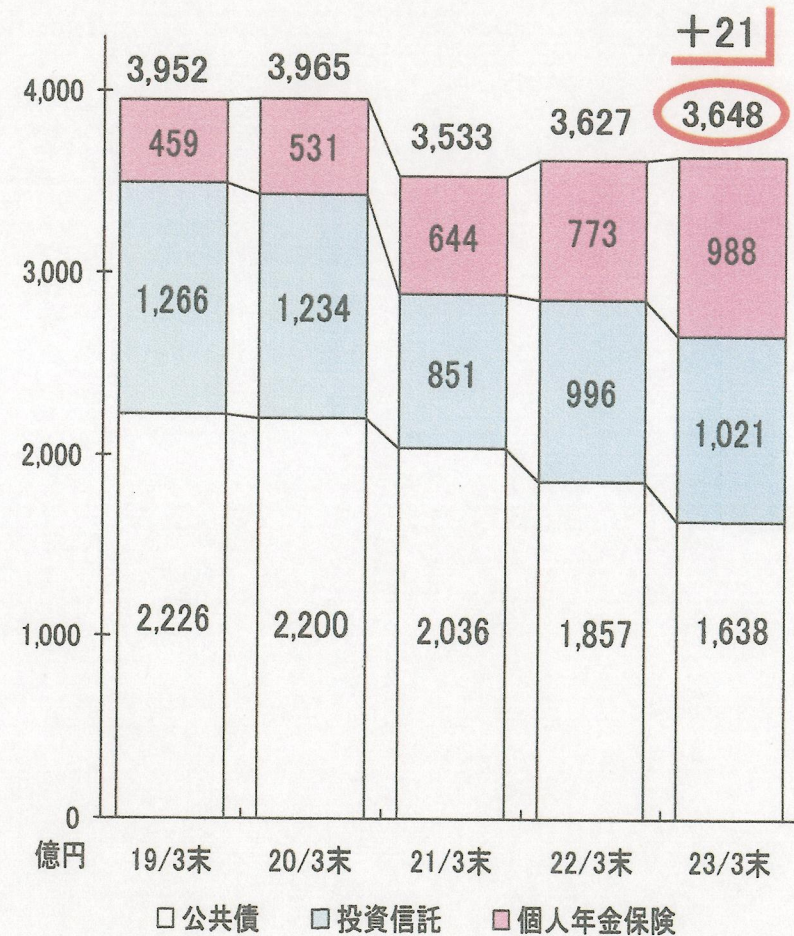
総預金は、法人・公共の増加により全体では順調に拡大。

預り資産は、投信および個人年金保険が堅調推移し、公共債の減少を補って全体の増加基調を維持。

## ● 総預金(預金+譲渡性預金)期末残高



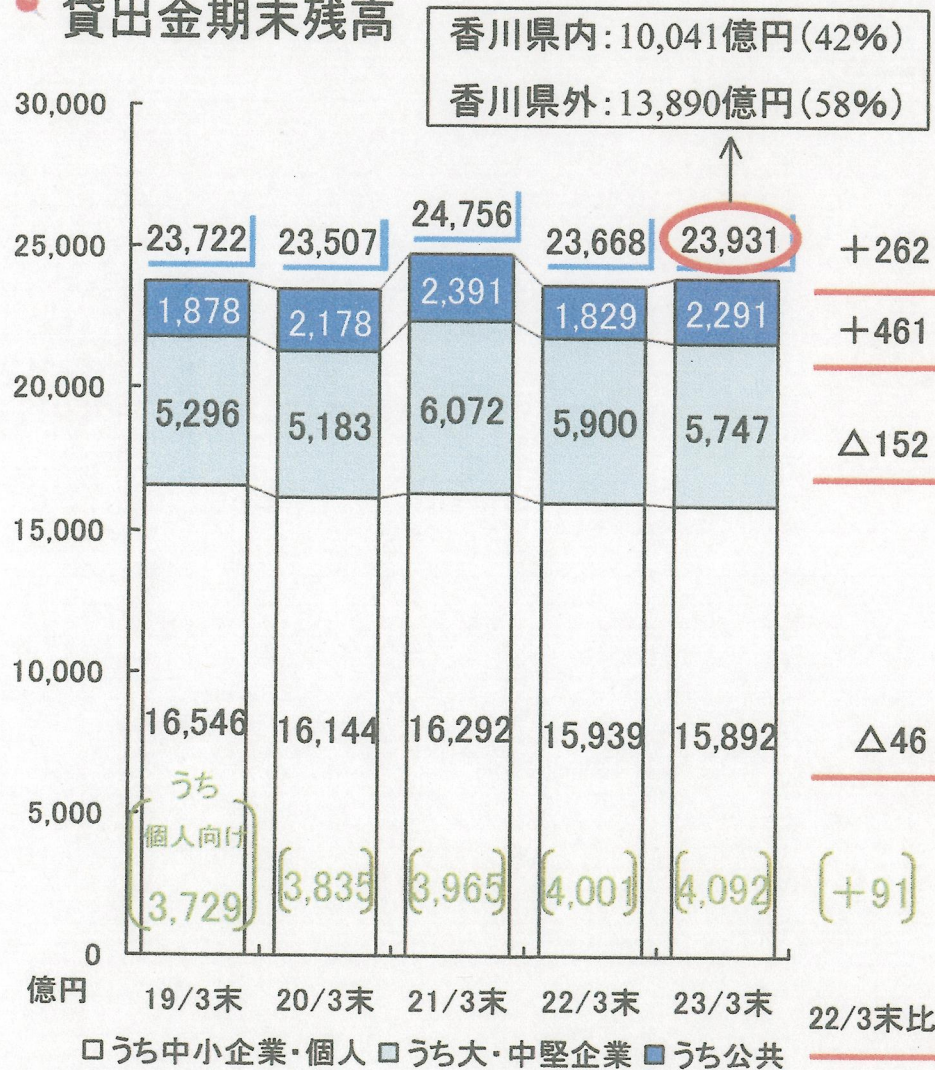
## ● 預り資産期末残高



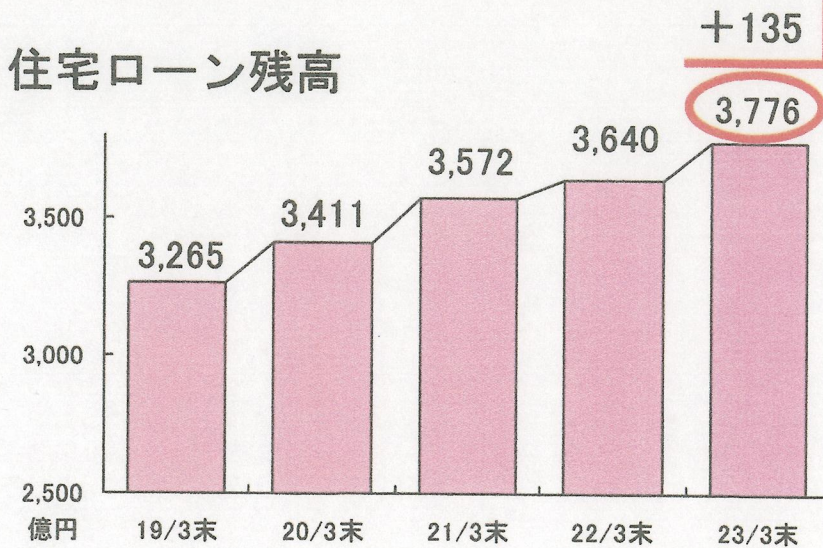
# 平成22年度決算のポイント

貸出金期末残高は、企業向けが減少したものの、公共向けおよび個人向けが増加。特に、住宅ローン残高、信保付貸出残高は每期増加。

## ● 貸出金期末残高



## ● 住宅ローン残高

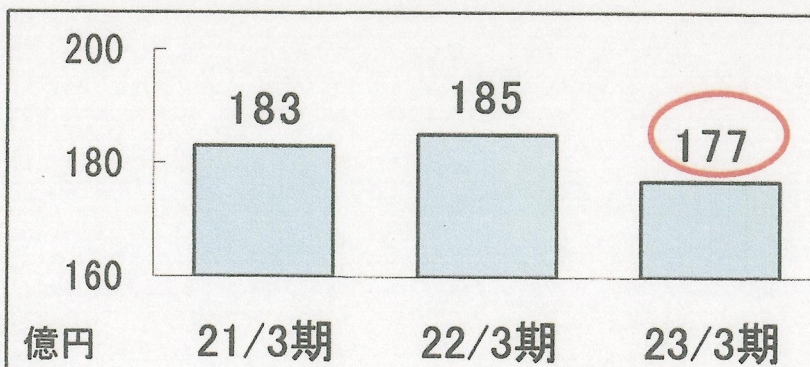


## ● 信保付貸出残高



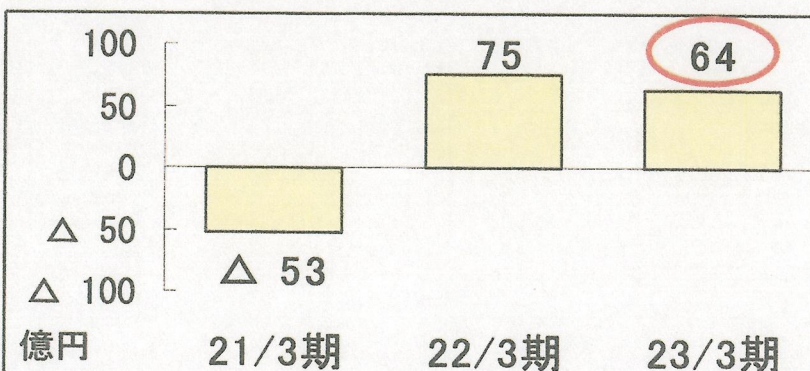
# 平成22年度決算のポイント

## コア業務純益



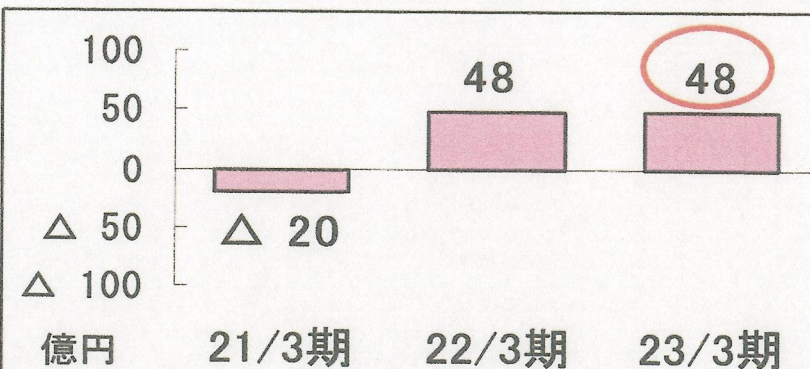
● 銀行の本来業務からの利益を表すコア業務純益は、前期比7億62百万円減少して、177億78百万円となりました。

## 経常利益



● 経常利益は、前期比10億70百万円減少して、64億84百万円となりました。

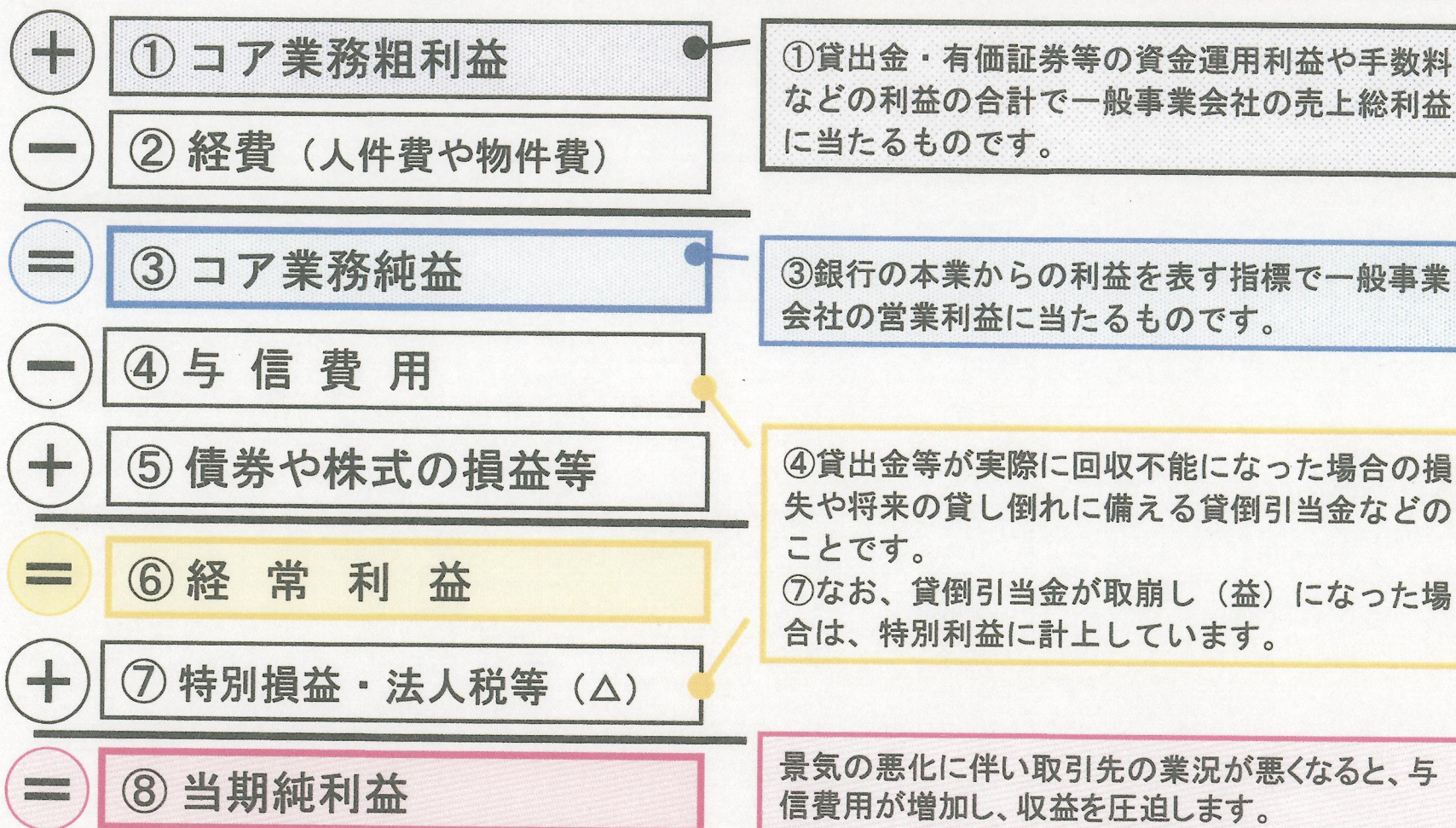
## 当期純利益



● 当期純利益は、前期比3百万円増加して、48億90百万円となりました。

# 平成22年度決算のポイント（銀行決算の構造）

- 銀行の業績（経常利益や当期純利益）は、本業からの利益である「コア業務純益」を増加させ、「与信費用」を低減することで向上します。
- 銀行の収益は「サービスの対価」と「リスクテイクの対価」から成っています。





# 地域社会の活性化への取り組み

お客さまとの日常的・継続的なコミュニケーション強化を図ることにより、お客さま・地域社会が当行に対して求めている役割をしっかりと認識し、営業店と本部が連携して、お客さまのライフステージに応じた最適なソリューションをご提案してまいります。

また、当行の強みの一つである広域店舗網や外部機関とのネットワークを活用して情報・ノウハウを提供するほか、地方公共団体等と連携し、成長分野の育成等に向けた地域の取り組みに貢献してまいります。

## 「お客さまファースト」の実践

お客さまファーストとは、“お客さまのことを第一に考え”、“お客さまの立場で考える”



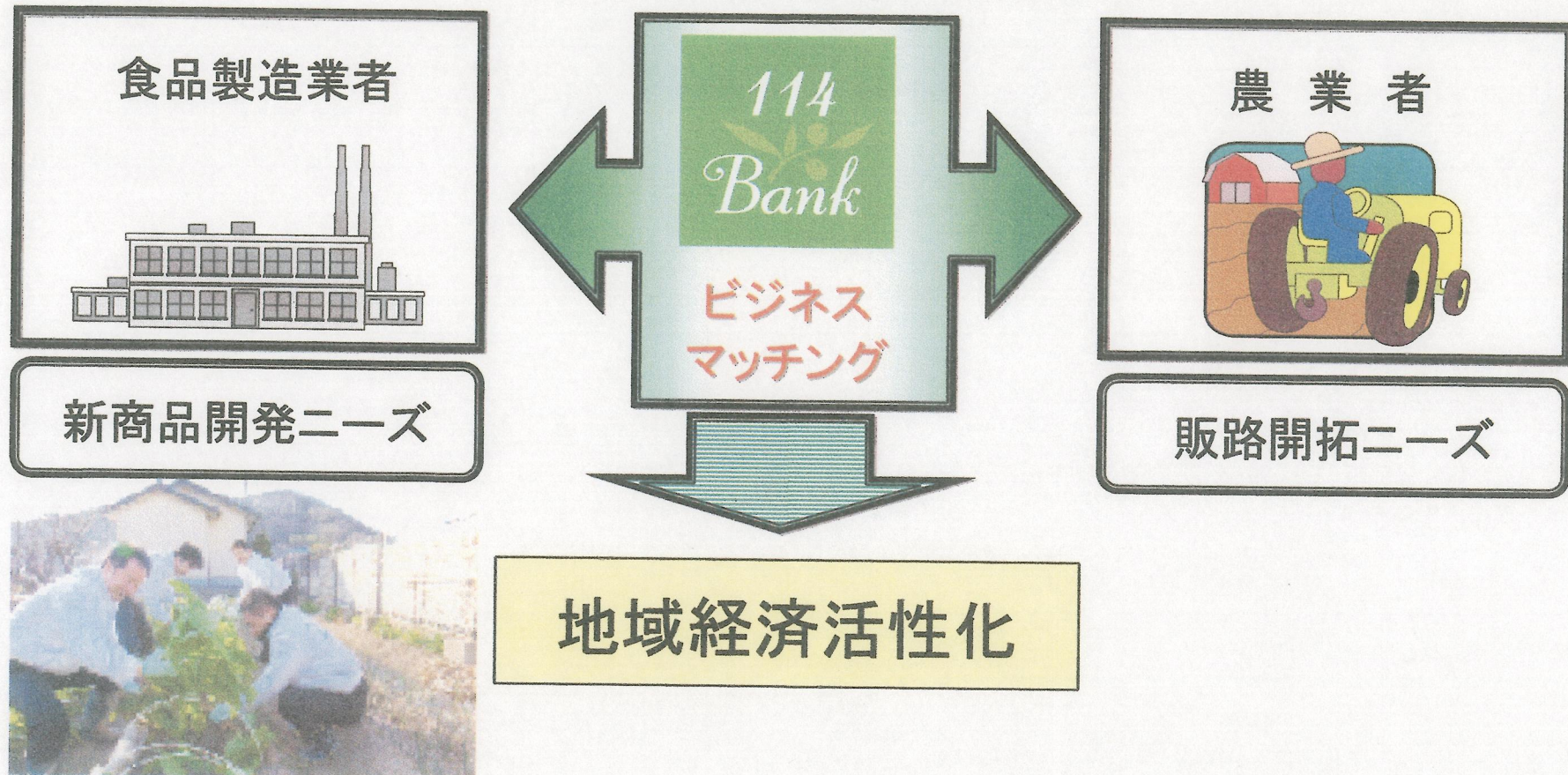
めざすものは...

地域とお客さまの期待を継続的に超える金融サービス集団

## 農業分野への取り組み

地域の農業者さま、食品製造業者さま、双方のニーズを踏まえ、「食」を通じたビジネスマッチングにより、食文化の新たな創造に取り組んでいます。

### 【新しい地域資源の創造】



# 地域社会の活性化への取り組み

## ビジネスマッチングを活用した販路拡大への取り組み

外部機関などとの連携による商談会を開催し、ネットワークを通じた情報の提供により、販路拡大につながるお手伝いを行っています。また、地元香川県産の食品等の普及にも努めています。



昨年の様子(地方銀行フードセレクション)



# 地域社会の活性化への取り組み

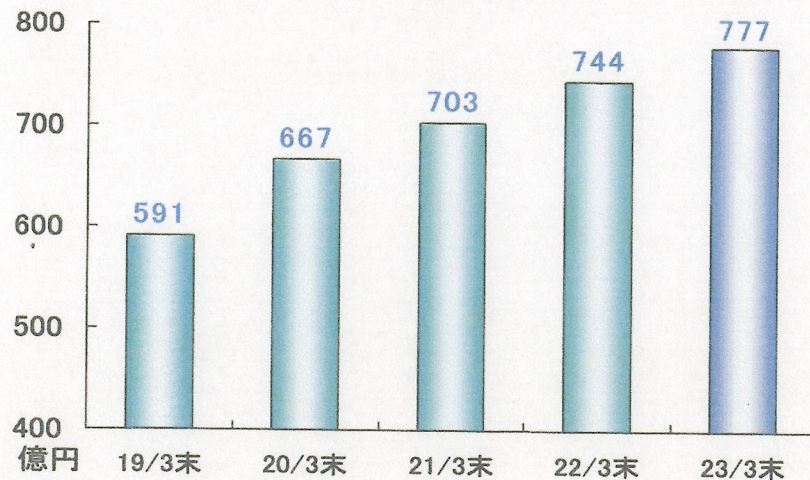
## 医療・介護分野への取り組み

高齢化社会の進展に対応した魅力ある地域づくりに寄与するため、医療制度改革への対応等により経営相談ニーズが高い医療・介護機関向けのサポートを充実させています。

### 当行の支援状況

- 社団法人日本医業経営コンサルタント協会認定の「医業経営コンサルタント」資格を取得した「医療・介護」専担者を本部内に配置し、営業店との協働により新規開業相談、資金調達相談、経営コンサルティング等を実施しております。
- 「114医療・介護NEWS」等による情報の提供も行っております。

～医療・介護関連融資残高の推移～



114 医療・介護 NEWS No.63 2011.4.28

■「特定医療法人制度」について

特定医療法人とは、医療提供の質の向上を図るため、公益的な目的を以て設立された公益法人である。一次の事業を営み、二次の事業として、医療提供の質の向上を図る。事業の目的は、医療提供の質の向上を図ることである。

1. 特定医療法人制度の概要
  - 特定医療法人は、医療提供の質の向上を図るため、公益的な目的を以て設立された公益法人である。
  - 特定医療法人は、医療提供の質の向上を図るため、公益的な目的を以て設立された公益法人である。
2. 特定医療法人のメリット
  - 特定医療法人は、医療提供の質の向上を図るため、公益的な目的を以て設立された公益法人である。
  - 特定医療法人は、医療提供の質の向上を図るため、公益的な目的を以て設立された公益法人である。
3. 特定医療法人のデメリット
  - 特定医療法人は、医療提供の質の向上を図るため、公益的な目的を以て設立された公益法人である。
  - 特定医療法人は、医療提供の質の向上を図るため、公益的な目的を以て設立された公益法人である。
4. 注目のポイント
  - 特定医療法人は、医療提供の質の向上を図るため、公益的な目的を以て設立された公益法人である。
  - 特定医療法人は、医療提供の質の向上を図るため、公益的な目的を以て設立された公益法人である。

「114医療・介護セミナー」

第一講 「医療制度改革とこれからの病院経営」

～2012年 診療報酬・介護報酬の同時改定に向けて～

講師 川瀬孝一

第二講 「訪問医療の始め方」

～高齢者医療の質を向上させるための取り組み～

講師 鈴木精一

2011.3/24木

13:30～17:00

百十四銀行

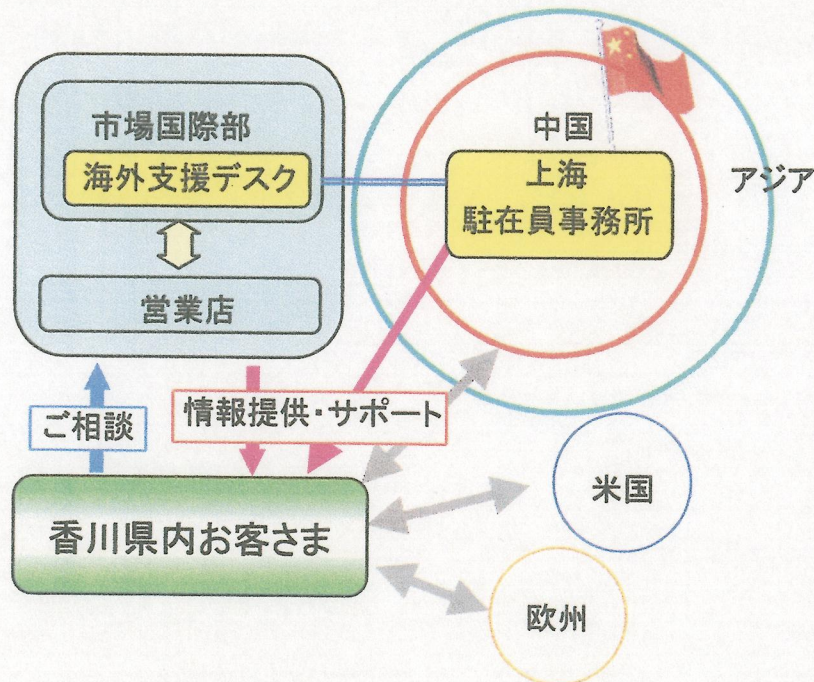
主催/百十四銀行 後援/香川県医師会 高松市医師会

# 地域社会の活性化への取り組み

## 海外取引・海外進出サポート

営業店・本部・上海駐在員事務所が連携し、海外企業との新たなお取引や海外での拠点設立、運営等お客さまの海外進出に関し、幅広くサポート

国内及び海外の専門機関(コンサルタント・弁護士・会計士等)とのネットワークを活用



「日中ものづくり商談会@上海2011」  
(平成23年9月6・7日予定)



昨年の様子

## 省エネ・環境支援への取り組み

金融商品・サービスを通じて、環境に配慮した事業経営を実践されているお客さまを支援し、地域の環境保全活動に貢献しております。

- ◆外部機関との連携強化
  - ・四国経済産業局
  - ・カーボンゼロ四国
  - ・香川県
  - ・かがわ産業支援財団
  - ・高松商工会議所
  - ・中小企業応援センター
  - ・株式会社 四電工 等
- ◆行員の知識向上
  - ・勉強会等への参加
  - ・専門家と帯同訪問によるOJT 等



- 情報発信・ニーズの発掘
- ◆省エネ関連セミナー開催
- ◆営業活動での提案
  - ・省エネ無料診断
  - ・国内クレジット制度(\*)
  - ・カーボンオフセット
  - ・ISO取得支援
  - ・環境配慮型金融商品 等



環境経営志向型企业さま

外部機関と連携してソリューションを実施

環境配慮型地域社会づくりに貢献

- ・平成22年10月 国内クレジット制度(\*)活用セミナー開催  
地域国内クレジット買取機能「カーボンゼロ四国」に賛助会員として参加
- ・平成22年度 国内クレジット制度認証支援 2件実施

\* 国内クレジット制度…中小企業等が行うCO2等の排出削減事業(省エネ対策等)により国内クレジット認証委員会が認証した削減CO2排出量をクレジット化し、大企業等が排出権として国内クレジットを購入する制度。

## 事業価値を見極めた資金供給手法としてのABL

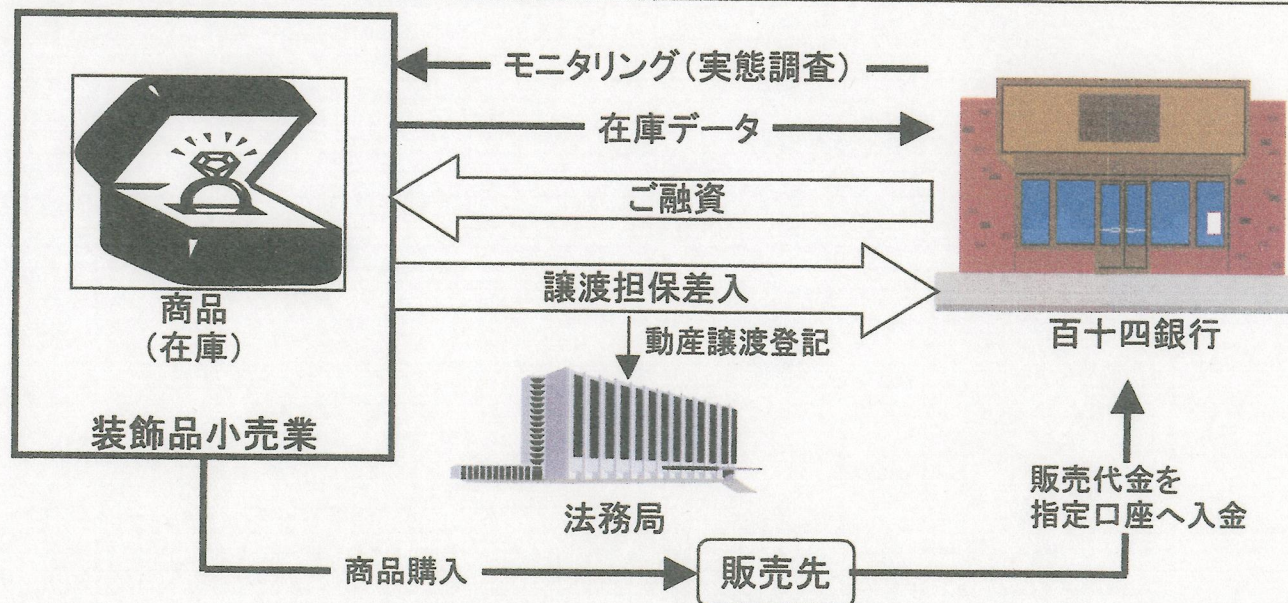
ABL(アセット・ベースド・レンディング)とは

在庫や売掛金といった流動資産や機械設備の資産を担保とする融資手法。資金の貸し手(銀行等)と借り手(企業)が、お互いの信頼関係に基づいて密接なコミュニケーションを取りながら、企業が持つ在庫や売掛金等を裏付けとして行う融資。

ABLの活用

担保とした資産の状況の実態管理や業績に関わる情報の定期的な報告により、貸し手が随時助言を行うなど、借り手と貸し手のリレーションシップ強化が図られる。また、長期的かつ多面的な関係構築に基づき、財務諸表に表れない実態把握により金融の円滑化を図る。

〈事例〉



## 融資とリースの融合スキームへの取り組み

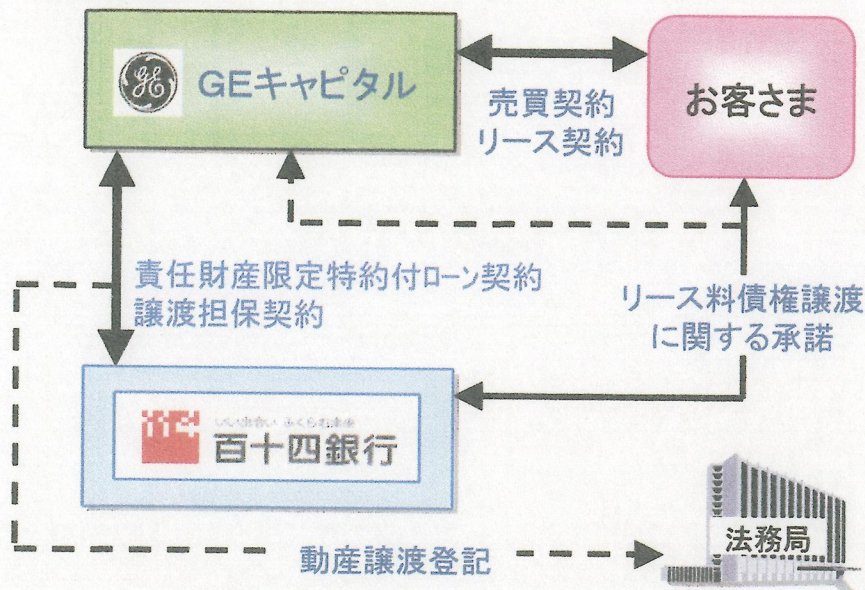
日本GE株式会社 GEキャピタル（以下「GEキャピタル」）と協働で「融資」と「リース」の融合スキーム案件を実行。当該スキームは、お取引先（自動車部品製造メーカー）に対するセール&リースバックにおける機械設備及びリース債権等を担保として、当行が設備取得代金の融資を実行しました。

（※当行とGEキャピタルは、動産価値評価サービス契約を締結済み）

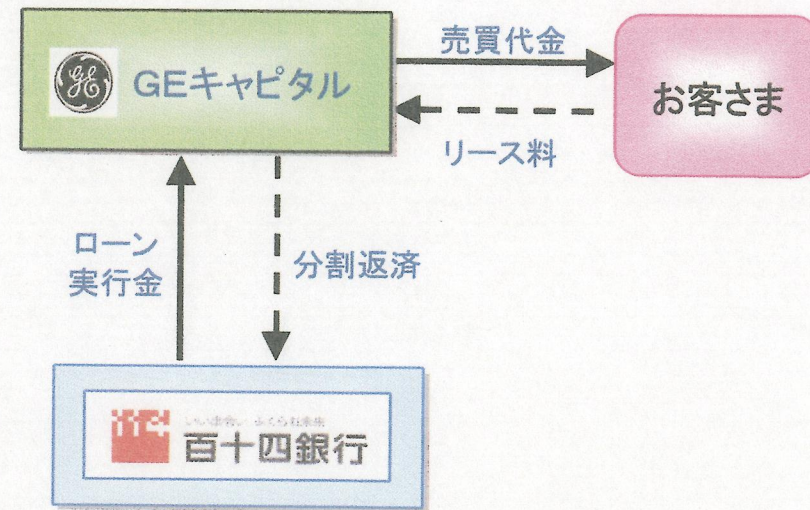
### 【セール&リースバックとは】

所有する物件を貸手に売却し、貸手から当該物件のリースを受ける取引

#### 【契約関係】



#### 【キャッシュフロー】

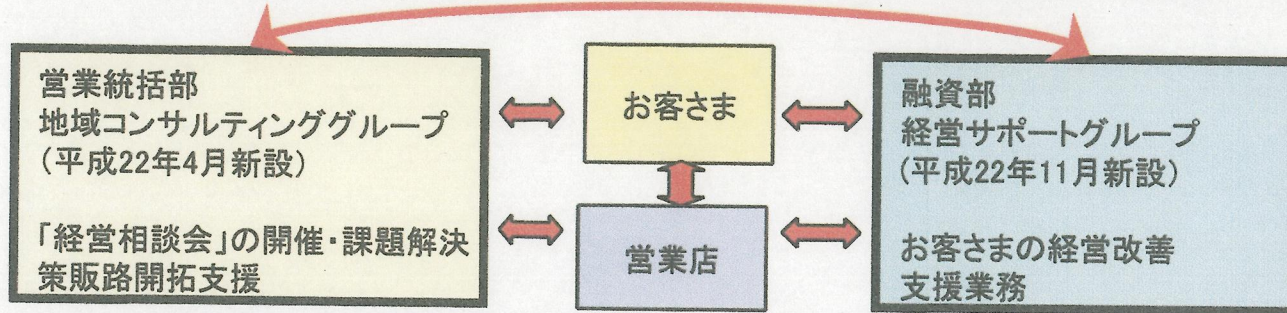




# 地域社会の活性化への取り組み

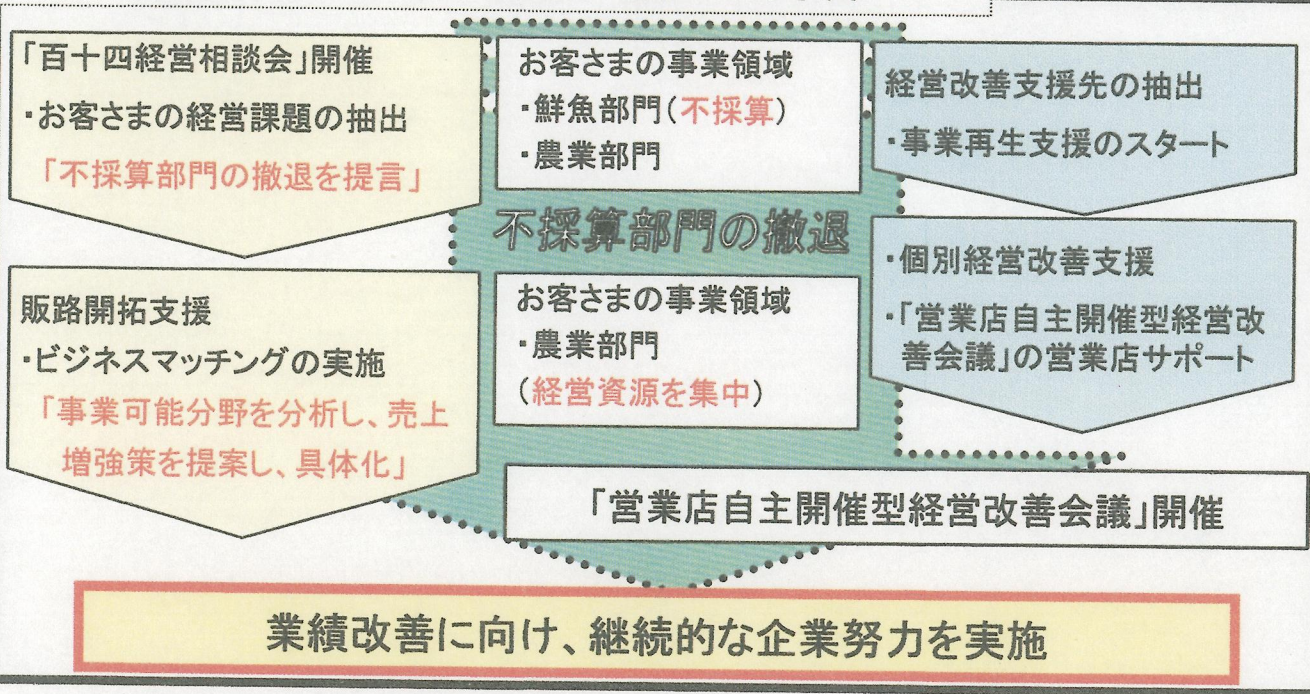
## 経営相談会を通じたサポート

お客様の業績改善に向けて、「経営相談会」を開催しております。お客様の経営改善支援(営業店自主開催型経営改善会議・ビジネスマッチング等)を継続的に実施しております。



経営相談会の様子

### 問題解決策の具体的な施策の提案による事例



平成22年度  
経営相談会開催実績

13ヶ店 31社

#### 相談内容

- ✓業績改善 20社
- ✓事業承継 4社
- ✓財務面 5社
- ✓人材育成 2社

## 「心の詩」コンサートの開催

皆さまからご応募いただいた「心に残った曲と、その思い出を綴った作品」を女優の檜山文枝さんが朗読し、歌手がその曲を歌い演奏するもので、当行が114周年を迎えた平成4年より毎年開催しています。



## KAGAWAプロスポーツ応援定期預金

地元香川県のプロスポーツチーム5団体の躍進を願い、「KAGAWAプロスポーツ応援定期預金」の募集枠の0.01%を香川プロスポーツクラブ連絡協議会に寄贈しました。



## 「香川県学童軟式野球新人大会」の実施

- ▶ 創業130周年記念行事として平成20年から毎年開催しています
- ▶ 県内8支部より予選を勝ち抜いた32チームが参加されました



## 「百十四銀行ゲートボール香川県大会」の開催

- ▶ 今年で、第21回目となる百十四銀行ゲートボール香川県大会を開催しました
- ▶ 今年は72チーム、470名が参加されました

